

PAT-NO: JP363045952A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 63045952 A

TITLE: SYSTEM FOR SENDING EMERGENCY COMMUNICATION OF
PRIVATE BRANCH EXCHANGE

PUBN-DATE: February 26, 1988

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
TAKAHASHI, SHUICHI

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME
NEC CORP

COUNTRY
N/A

APPL-NO: JP61189877

APPL-DATE: August 12, 1986

INT-CL (IPC): H04M003/42

ABSTRACT:

PURPOSE: To attain sure and quick connection to an emergency notice destination even at emergency by providing an emergency notice class for an extension service class.

CONSTITUTION: An emergency notice class is provided to an extension class information storage area 71 of a storage device 60 in addition to the normal extension class. For example, an extension terminal equipment EXA11 is a fire station call exclusive terminal equipment and a terminal equipment EXB 12 is a police station call exclusive terminal equipment in the extension terminal equipments (EX). A class identification means 62 of the control equipment 60 reads and outputs the class information of fire station call exclusive class from the EXA 11 area of the storage area 71 when, e.g., the EXA 11 receives the called information. A dial information read means 63 inputs the information outputted from the identification means 62 to retrieve the extension class dial

information storage area 72, reads and outputs the corresponding telephone number. The connection control means 64, based on the dial code, applies automatic dialing to a prescribed destination via an automatic dial sender 40.

COPYRIGHT: (C)1988,JPO&Japio

⑫ 公開特許公報(A)

昭63-45952

⑬ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和63年(1988)2月26日

H 04 M 3/42

G-8426-5K

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 構内交換機の非常通報発信方式

⑯ 特 願 昭61-189877

⑰ 出 願 昭61(1986)8月12日

⑱ 発 明 者 高 橋 修 一 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑲ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

⑳ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

明 細 書

発 明 の 名 称

構内交換機の非常通報発信方式

特 許 請 求 の 範 囲

複数の内線および少くとも一つの局線を接続して相互の交換接続を制御する構内交換機の非常通報発信方式において、内線別にクラス情報を記憶し且つ非常通報用内線クラス別に所定の接続先ダイヤル情報を記憶する記憶装置と、ダイヤル符号をもって駆動されたとき局線を起動して受信したダイヤル符号を接続先交換機に送信する自動ダイヤル送出装置と、発呼内線を検出し非常通報用内線クラスを識別したとき内線クラスから索引した接続先ダイヤル情報にしたがって局線の一つを選択捕捉すると共に自動ダイヤル送出装置に接続し、この自動ダイヤル送出装置へ接続先のダイヤル符号を転送して局線を起動させ次いでダイヤル符号を送出させて接続先を呼出し接続先の応答にした

がって主スイッチを制御し発呼内線を接続先局線へ接続する制御装置とを有することを特徴とする構内交換機の非常通報発信方式。

発 明 の 詳 細 な 説 明

〔産業上の利用分野〕

本発明は構内交換機の非常通報発信方式に関する。

〔従来の技術〕

従来、構内交換機の非常通報発信方式は通報者が手近の電話機の送受器を上げ（オフフックし）てから“0”ダイヤル操作して局線装置を捕捉し、電話局からの発信音を確認後、消防署への発信であれば“119”、警察署への発信であれば“110”、特定緊急連絡先への発信であればその相手先番号、等をダイヤル操作していた。

〔発明が解決しようとする問題点〕

上述した従来の非常通報発信方式は電話機の送受器を上げてから“0”ダイヤル操作し、局の発信音確認後、消防署への発信であれば“119”、

警察署への発信であれば「110」、特定緊急連絡先への発信であればその相手先、等をダイヤル操作するので、非常時のあわてている時には、「0」ダイヤル忘れ」および「発信音確認忘れ」等が発生し、消防署、警察署又は特定緊急連絡先等への接続ができなくて通報が遅れるという問題点があった。

本発明は上記問題点を解決した構内交換機の非常通報発信方式を提供するものである。

〔問題点を解決するための手段〕

本発明の構内交換機の非常通報発信方式は、複数の内線および少くとも一つの局線を接続して相互の交換接続を制御する構内交換機が、内線別にクラス情報を記憶し且つ非常通報用内線クラス別に所定の接続先ダイヤル情報を記憶する記憶装置と、ダイヤル符号をもって駆動されたとき局線を起動して受信したダイヤル符号を接続先交換機に送信する自動ダイヤル送出装置と、発呼内線を検出し非常通報用内線クラスを識別したとき内線クラスから索引した接続先ダイヤル情報にしたがっ

て局線の一つを選択捕捉すると共に自動ダイヤル送出装置に接続し、この自動ダイヤル送出装置へ接続先のダイヤル符号を転送して局線を起動させ次いでダイヤル符号を送出させて接続先を呼出し接続先の応答にしたがって主スイッチを制御し発呼内線を接続先局線へ接続する制御装置とを有する。

〔実施例〕

次に、本発明の構内交換機の非常通報発信方式について図面を参照して説明する。

第1図は本発明の一実施例を示す機能ブロック図、第2図は第1図の制御装置の主要動作手順の一例を示すフローチャートである。

第1図において、内線10をライン回路20を介して、また局線30を局線装置31を介してそれぞれ接続すると共に自動ダイヤル送出装置40を接続する主スイッチ50が制御装置60により制御される。制御装置60は発呼検出手段61、クラス識別手段62、ダイヤル情報読取手段63および接続制御手段64を有し、記憶装置70が

- 3 -

- 4 -

記憶するプログラムおよびデータを駆使して主スイッチを主として制御する。記憶装置70は内線別クラス情報記憶領域71および内線クラス別ダイヤル情報記憶領域72を有し、それぞれのデータは予め記憶されている。

内線10は内線端末（以後EX）としてEXA11～EXD14を接続する。例えばEXA11は消防署呼出専用端末、またEXB12は警察署呼出専用端末である。発呼検出手段61はライン回路20から内線10の状態通知を受信し、発呼した内線10を検出する。クラス識別手段62は検出された発呼内線10の情報、例えばEXA11が発呼した情報を受信したとき内線別クラス情報記憶領域71のEXA11領域から消防署呼出専用クラスというクラス情報を読取り出力する。ダイヤル情報読取手段63はクラス識別手段62が出力したクラス情報を入力して内線クラス別ダイヤル情報記憶領域72を検索し、例えば消防署呼出専用クラスでは特番「119」を、警察署呼出専用クラスでは特番「110」を、また特定緊

急連絡先発信クラスでは予め記憶させた電話番号を、一つ読取って出力する。接続制御手段64はダイヤル情報読取手段63から入力したダイヤル符号から局線装置31および自動ダイヤル送出装置40それぞれの空きの一つを選択捕捉し主スイッチ50を制御して相互接続すると共に、入力したダイヤル符号を自動ダイヤル送出装置40へ転送する。自動ダイヤル送出装置40は主スイッチ50、局線装置31および局線30を介して局用交換機（図示されず）に接続されたとき局用交換機を起動し、所定の時間経過後に受信したダイヤル符号を局線30へ送出する。

次に第2図に第1図を併せ参照して制御装置の主要動作手順について説明する。まず発呼検出手段61が内線端末、例えばEXA11（消防署呼出専用クラス）、の発呼を検出（動作手順1）したとき、発呼情報としてEXA11を出力する。EXA11の発呼情報を受信したクラス識別手段62は内線別クラス情報記憶領域71の内線EXA11領域から内線クラスとして消防署呼出専用

- 5 -

- 6 -

のクラス情報を読取ることにより内線クラスを識別（動作手順2）する。識別した内線クラスが消防署呼出専用、警察署呼出専用、特定緊急連絡先呼出専用等の非常通報クラスの場合（動作手順3）にはダイヤル情報読取手段63がクラス識別手段62から受信した内線クラスにより記憶装置70の内線クラス別ダイヤル情報記憶領域72を検索して該当する領域からダイヤル情報を読取（動作手順4）り接続制御手段64へ転送する。接続制御手段64は受信したダイヤル情報に従って、局線装置31および自動ダイヤル送出装置40それぞれの空きの一つを選択捕捉し（動作手順5）主スイッチ50を制御して相互接続する。制御装置60は主スイッチ50を介して自動ダイヤル送出装置40を局線装置31に接続することにより局線30が収容される交換機まで接続させると共にダイヤル情報のうちダイヤル符号を自動ダイヤル送出装置40へ転送して局線30を介して交換機を起動（動作手順6）する。交換機がダイヤル受信準備を完了する時間経過を待って、自動ダイヤ

- 7 -

ないが複数回線でもよく内線も図示された回線数には限定されない。

〔発明の効果〕

以上説明したように本発明の構内交換機の非常通報発信方式は、内線クラスに消防署発信クラス、警察署発信クラス、および特定緊急連絡先発信クラス等の非常通報用クラスを設け、このクラスが設定された電話機の送受器を上げるだけで消防署、警察署、又は特定緊急連絡先等の非常通報先へ自動発信して接続するように構成することにより、非常時のあわてている時でも確実・迅速に接続できるという非常通報のサービス改善効果がある。

図面の簡単な説明

第1図は本発明の構内交換機の非常通報発信方式の一実施例を示すブロック図、第2図は第1図の主要動作手順の一例を示すフローチャートである。

10……内線、11、12、13、14……内

- 9 -

ル送出装置40はダイヤル符号の自動発信（動作手順7）を開始する。ダイヤル符号の送信によりダイヤルによる接続先が呼出されダイヤル先が応答するので、自動ダイヤル送出装置40を介して接続制御手段64がこの応答を検出（動作手順8）して主スイッチ50を制御し、局線装置31から自動ダイヤル送出装置40を切離すと共に発呼内線10、例えばEXA11を接続して例えばEXA11からダイヤル“119”の接続先である消防署への通信路を形成（動作手順9）し、通信を可能とする。

上記実施例で自動ダイヤル送出装置の切離し時期を応答を検出したときと説明したがダイヤル送出後所定の時間をもって切離してもよい。この場合の応答の信号は局線装置から受信して検出する。制御装置が有し図示された機能手段は例えば交換機のマイクロプロセッサが記憶装置のプログラムおよびデータを駆使して機能発揮するもので別の機能構成でもよく、上記説明が本発明を限定するものではない。局線30は一回線しか図示してい

- 8 -

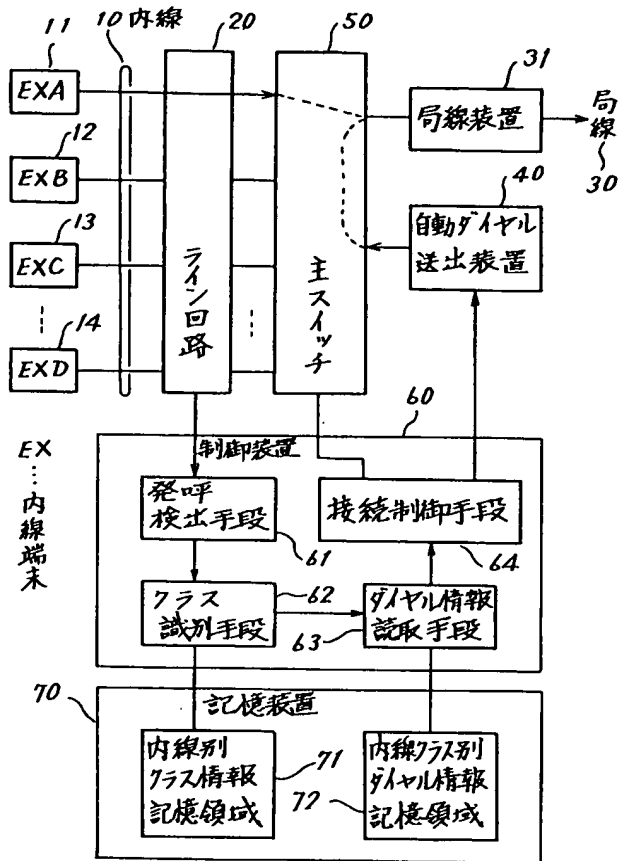
線端末〔EXA～EXD〕、30……局線、40自動ダイヤル送出装置、50……主スイッチ、60……制御装置、70……記憶装置。

代理人 弁理士 内原 晋



- 10 -

第 1 図



第 2 図

